

PS-2032GP

PS-2032GPは、ティアック社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-2032-R	ラトックシステム社	90,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/Xp Excel2000 Excel2002/2003
W32-2032-C	コンテック社		
W32-2032-N	NI社		
使用できる機種		PS-2032GP	

機能

3つの測定モードを持っています。

1. メモリー受信モード

測定器本体の内部メモリを使用して、4チャンネル/5μsサンプリング、32チャンネル/50μsサンプリングで、最大120Kデータの取込が可能です。受信データが32Kデータまでなら自動作図を行います。

2. ダイレクト受信モード

測定器本体の入力値を直接読み込んで、リアルタイムにExcelシートに取込みます。連続120Kデータの受信が可能です。

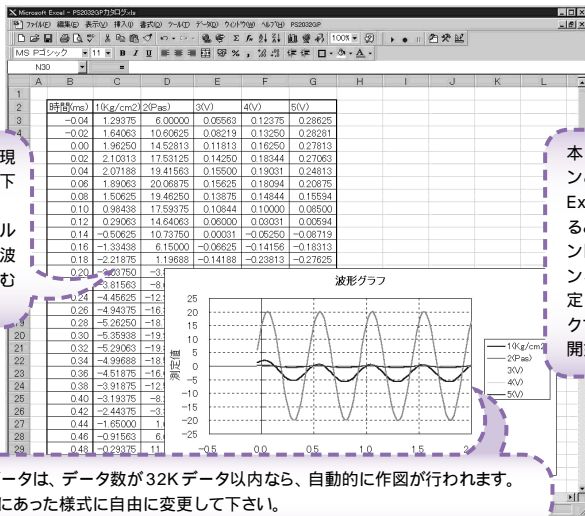
3. 入力値のリアルタイムモニタ

入力チャンネルのリアルタイムモニタを行います。

各チャンネルの電圧値を他の物理単位に変換ができます。



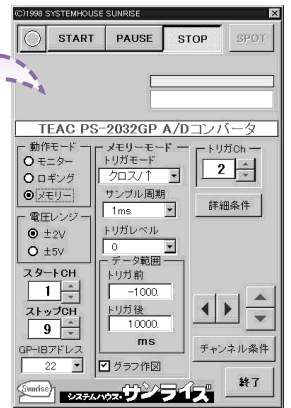
概要



波形データは、Excelシートの現在のカーソル位置を先頭に上下方向に取込みます。(右図参照) データ取込開始位置をカーソル位置で指定できますから複数の波形を1つのExcelシートに取込むことが可能となります。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。取込むチャンネルと取込みデータ範囲を設定し、「スタート」ボタンをクリックすると波形データの取り込みを開始します。

Excelシートに取込んだ波形データは、データ数が32Kデータ以内なら、自動的に作図が行われます。その後必要ならご自分の目的にあった様式に自由に変更して下さい。



操作説明

測定器の内部メモリを使用して、高速データ取込を行います。(取り込めるデータ数は、チャンネル当たり最大120Kデータです。)

<メモリー受信モード>

波形データを取込む開始位置をトリガポイントからの時間を入力します。トリガポイントからはマイナスの値、後はプラスの値で入力します。入力が無い場合や不適当な値が入力された場合、「0」が入力されたものとします。

波形データを取込む最終位置をトリガポイントからの時間を入力します。トリガポイントからはマイナスの値、後はプラスの値で入力します。入力が無い場合や不適当な値が入力された場合、「1」が入力されたものとします。但し、取込データ数が120,000個を超える場合は、開始位置から120,000個までとなります。

1度に取込めるデータ数は、120,000個までです。データが最下行に到達すると、すぐ右の列の先頭からデータ入力が続きます。

現在のスキャンチャンネルで設定可能な測定条件を表示します。(裏面の説明参照)

Excelシート上のカーソルを上下/左右に移動し波形取込開始位置を決定します。「スタート」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方へ波形データを取込みます。

スケールリング演算を行うチャンネルにチェックを付けます。

係数A/Bにより、受信したデータを下記の演算を行った後、Excelに取込みます。Excelへの入力値 = (受信データ - B) * A

「単位」は、必要なら入力してください。

注1) 測定器のデリミタは「CR + LF」に設定してください。
 注2) 1度に取込めるデータ数は、チャンネル当たり120Kデータまでです。但し、Excelの性質上、あまり多くのデータを取込みますと、データの表示動作が極端に遅くなりますから実用的ではありません。取込む1波形のデータ数は、10Kデータ以内にとることをお勧めします。波形の取込速度は、Pentium200MHzのパソコンを使用した場合、下記がおおよその目安となります。(作図時間は含まれません)
 ・波形データ数 1チャンネル/10Kデータの時、約22秒
 ・波形データ数 4チャンネル/32Kデータの時、約120秒

Excel入力値=(電圧値-係数B)*係数A
 チェックが無いときは、常に係数A=1、係数B=0で計算されます。
 「単位」は、必要なら入力してください。
 グラフシートに作図

グラフシートに作図が行われます。チェックを付けずに、データの入力されたシート上に作図されます。

操作説明

測定器の内部メモリを使用しないで、入力値をダイレクトにExcelに取り込みます。測定値がリアルタイムに、Excelシート上で確認できます。(取り込めるデータ数は、チャンネル当たり最大120Kデータです。)

<ダイレクト受信モード>

測定器から波形の取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定中のモニターチャンネルを指定します。測定中にも変更可能です。画面の外に隠れてしまったチャンネルのデータを観る時に便利です。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。また、「PAUSE」を先に押してから「START」をクリックすると、スポット測定モードとなり、「SPOT」をクリックする毎に1回測定を行います。

動作モードを「ロギング」に切り換えます。

電圧レンジを切り換えます。

スタートチャンネル/ストップチャンネルを設定します。

測定器本体で設定した GP・IB アドレスと同じ値を設定します。

データの取込を停止します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。また、スポット測定モードの場合、このボタンで、測定を行います。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、120,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、120,000回です。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

データの入力と共にシートをスクロールします。

データに日付時刻を付加します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

操作説明

測定器の入力値をモニターします。モニター値はExcelシート上に表示されます。

<リアルタイムモニター>

入力モニターを開始します。

モニター中は「赤色」、停止中は「灰色」となります。

動作モードを「モニター」に切り換えます。

電圧レンジを切り換えます。

スタートチャンネル/ストップチャンネルを設定します。

測定器本体で設定した GP・IB アドレスと同じ値を設定します。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

メモリー受信モード時の、「詳細条件」表示の例

測定条件の詳細

現在の測定チャンネルでの設定可能範囲

Start Ch-1	最大データ取込数
Stopt Ch-5	チャンネル当たり
最速のサンプル周期 10us	120000 個

100usサンプル周期での測定可能範囲

-640.ms から 11360.ms

または

0.ms から 12000.ms

100usサンプル周期での作図可能範囲

-640.ms から 2560.ms

または

0.ms から 3200.ms

終了